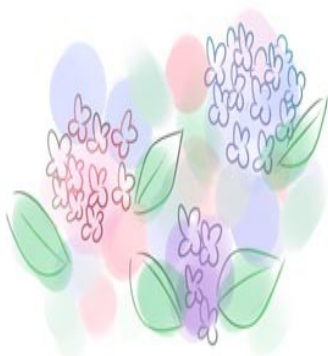




VOL.57 summer

2010年6月30日



編集/釜石市総務企画部少子化対策・男女共同参画推進室

〒026-0024 釜石市大町 3-8-3 青葉ビル

TEL ; 0193-22-5121 FAX ; 0193-22-6002

URL ; <http://www.city.kamaishi.iwate.jp/>

E-mail ; Syousi@city.kamaishi.iwate.jp

- ◎ 特集
平成 21 年度男女共同参画推進事業の概要
- ◎ 報告
「『いわて男女共同参画フェスティバル 2010』に参加して」
- ◎ さんかくニュース
「男女共同参画週間の標語」
「れでいす・ねっとわーく」ほか

平成 22年度 男女共同参画推進事業の概要

釜石市男女共同参画推進プラン進捗状況（平成 21年度）

指 標	単 位	19年度	21年度	目標値 25年度	摘要	
基本目標Ⅰ	男女混合名簿の採用校	%	76.5	70.6	100.0	小・中学校
	平等と感じる人の割合	%	13	19	30	意識調査
	思春期講演会の開催回数	回	(2) ※	5 (3)	10	累計値
基本目標Ⅱ	婦人相談・人権相談・法律相談の開催回数	回	(36) ※	72 (36)	216	累計値
	VAVママ準備教室の開催数	回	(12) ※	18 (9)	72	累計値
	VAVママ準備教室への男性参加率	%	68.8	73.3	90.0	
	保育所待機児童数	人	18	9	0	10月末現在
基本目標Ⅲ	ゆいっこサポートセンター会員登録数	人	100	133	120	
	早世の割合	%	15.4	15.9	13.6	
	乳がん検診新規受診者数	人	(302) ※	734 (367)	1,800	累計値
	子宮がん検診新規受診者数	人	(355) ※	746 (374)	1,800	累計値
	喀痰検査受診者数	人	(180) ※	448 (234)	1,000	累計値
	障がい者就業・生活支援センターの支援による一般就労移行者数	人	—	—	10	平成23年度 運営開始
基本目標Ⅳ	審議会等における女性委員の比率	%	29.8	30.3	40.0	
	女性委員のいない審議会をなくす		16	11	6	
	市職員管理監督者に占める女性の割合	%	18.4	22.4	30.0	係長職以上
	地域会議における女性構成員の比率	%	—	13.6	20.0	
	男女共同参画サポーター認定者数	人	(1) ※	5 (2)	10	累計値
外国語指導助手の小・中学校、幼稚園への訪問回数	回	(330) ※	656 (329)	1,800	累計値	

注1) 累計値：H20～25の累計とする

注2) () ※：() 内は単年度の数値である

釜石市では、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現をめざし、平成 21 年 3 月に「釜石市男女共同参画推進プラン」を策定しております。

釜石市では、男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現をめざし、平成 21 年 3 月に「釜石市男女共同参画推進プラン」を策定しております。

男女共同参画推進事業は広範多岐にわたるため、計画を総合的・効果的に推進していくためには、行政はもとより市民、民間企業、各種団体などと緊密な調整、連携を図っていくことが重要です。

計画の進捗状況については、毎年度把握し公表することとしておりますが、先般、平成 21 年度の進捗状況（左表）がまとまりました。

「審議会等における女性委員の比率」は、初めて 30% 台になりました。「女性委員のいない審議会をなくす」ため、充て職を見直し、公募による取り組みが成果を上げており、女性委員のいない審議会は順調に減少を続けています。

しかし、国は、平成 21 年 9 月 30 日現在で 33.2% 県は、平成 21 年 10 月 1 日現在で 34.2% と高い数値を示しておりますので、目標の 40% に向けて、更なる努力が求められます。

男女共同参画を推進する上では、このように公表することにより、市民の理解を得ていくことが、何より大切になってきます。

当市の男女共同参画推進事業は、年々充実してきており、平成 22 年度は 4 つの基本目標の下に、全部で 95 事業を実施するものとしております。今号では、新規事業をいくつかご紹介いたします。

子育てに対する不安・負担の軽減

- ① **幼稚園第 2 子以降無料化**（幼児教育推進室）
幼稚園に子どもが同時に 2 人以上入園する場合、第 2 子以降の保育料を無料とする保育料の軽減措置

性と生殖に関する健康と権利についての理解の浸透と事業の促進

- ① **女性特有のがん検診推進事業**（健康推進課）
女性特有のがん（子宮頸がん及び乳がん）検診の受診を促進することにより、早期発見と正しい知識の普及啓発を進め、健康の保持増進と図るため、特定の年齢に達した女性に検診無料クーポン券及び検診手帳を送付するもの。

高齢者や障がいのある人などの生活安定に向けた取組みの推進

- ① **地域支え合い推進事業**（地域福祉課）
独居高齢者等の孤独死対策として、地域の支え合いを推進するため、支え合いの意識を高める取り組みを行うほか、地域福祉計画の策定に向けた調査を実施する。

ひとり親家庭の自立生活の支援

- ① **母子家庭自立支援給付金交付事業**（地域福祉課）
母子家庭の母に対して、就職に活かせる資格取得のための講座受講や修学中の生活費の負担軽減を図るため給付金を交付し、母子家庭の母の就業支援することにより経済的自立を促進するもの。
- ② **ひとり親就業支援事業**（地域福祉課）
地域との結びつきが弱く引きこもりがちなどがちであるなど、自発的に就業活動を行うことが困難なひとり親の家庭の母・父について、専門の支援員が個別に就業支援を行い、ひとり親の経済的自立を促進するもの。
- ③ **ひとり親雇用促進奨励金交付事業**（地域福祉課）
休職中のひとり親家庭の母及び父の雇用を促進するため、新たに正規雇用する事業主に対し、22 年度に限り雇用奨励金の上乘せ支給を行う。

いわて男女共同参画フェスティバル

女女 男男
 ~じよじよに 進む、だんだん 広がる 共同参画~

国の「男女共同参画週間」に呼応する形で、岩手県は、毎年6月を「いわて男女共同参画推進月間」と定め、様々な取り組みを進めています。メインイベントとして、去る6月26日に、いわて県民情報交流センター（アイーナ）において、いわて男女共同参画フェスティバル2010が開催されました。

午前中は、「男たちのワーク・ライフ・バランス～家族が笑顔になる秘訣」と題し、NPO法人ファザーリング・ジャパン代表理事の安藤哲也氏による講演会が開催され、午後は、高齢社会、子どもの人権、男性の子育てなどをテーマに6つの分科会が開催されました。

当日、釜石市からは総勢18人の女性団体関係者、男女共同参画サポーターらが参加しましたが、いずれの催しも有意義かつ勉強になったとの感想が多数寄せられました。

講演は、近頃、何かと話題になっている男性の子育て、育メンがテーマ。笑いを誘いながら、男性の気持ちを分かりやすく解説し、参加者は、家族が笑顔になる秘訣を楽しく聞くことができました。

父親が育児に関わるメリットは、

- ①母親の育児ストレスが軽減され、子どもへの虐待が減ること。
- ②夫婦関係（パートナーシップ）が強まること。
- ③言葉や社会性が早く身に付き、子どもの成長に良いこと。
- ④自活力が付き、地域に友達も増え、定年後や老後も安心になること。
- ⑤仕事で有効な能力も身に付き、アイデアが仕事に活かせること。
- ⑥父親自身の世界が広がり、人生が楽しくなること。

「子育ては期間限定のものだから、関わらないのはもったいない、『子ども』という入場券を上手く使って地域にデビューして欲しい」とのことでした。

また、「男達のワーク・ライフ・バランス＝男女共同参画」なので、行政の支援、企業の人事部の意識を変えていくこと、親世代の固執意識や「門番としての母親」を変えていくことが必要と。さらに「もっと、父親であることを楽しんでほしい、良い父親ではなく、笑っている父親になろう」と、数少ない若い男性参加者にエールを送っていました。

次に、いくつかの分科会について、参加者報告をご紹介します。

分科会2「CAPおとなワークショップ～人権意識を高めて暴力を防止しよう」

主催団体：CAP岩手 会場：8階501

CAP岩手のスタッフ3名が、安心・自信・自由の人権を子どもでも理解できる寸劇を交えながら説明してくれた。また、人権が侵害される場合に「NO」（いや！と言う）、「GO」（逃げる）、「TELL」（大人に話す）の説明をしてもらい、叫び声の練習や簡単な護身術など子どもに伝えたい内容がふんだんに盛り込まれていた。

さらに、子どもに信頼される大人の姿勢として、冷静・肯定・自尊感情など、頭では理解していたつもりでも実際には難しい内容を説明してもらった。「あなたが大事です」という言葉を隣の人と目を見て話す練習（他人なので恥ずかしい）など参加型の実践練習も多く、充実した内容であった。子どもへの暴力を防止するプログラムとして、子どもの健全な未来を育む事業として有意義であり、身近な人へ伝え実践したいと思った。

分科会6「夢中になる絵本の読み聞かせワザ」

主催団体：岩手県男女共同参画センター&NPO法人いわて翼の会 会場：6階世代間交流室

基調講演の安藤さんが「絵本て面白い！！絵本からのメッセージ」と題した講話の後で、参加された若い家族の子ども達に絵本を読んであげることで、絵本の読み聞かせの極意を見せてくださった。子ども達が、きゃっきゃと笑い声を上げると、絵本を読む声に力が入っていくのが良く分かった。

岩手にも宮古の「おどっつあんS（ず）」や一関の学校図書館ボランティア「にこにこ」のように、がんばっている父親たちがいることも知った。「親としてのスタンス」を本から学んだと話されていたが、絵本の読み聞かせは、子ども達ばかりでなく、親も育てることに感銘を受けた。有意義な一日であった。

① ～ 平成22年度「男女共同参画週間」の標語

内閣府男女共同参画推進本部では、「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、様々な取組を通じ、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。

平成22年度のキャッチフレーズは、応募総数2,915点の中から選ばれました。

「話そう、働こう、育てよう。いっしょに。」(愛媛県 石本 香織理 さまの作品)

② ～ 広域振興局再編に伴う配偶者暴力相談支援センターの指定の変更等について

「配偶者暴力相談支援センター」に指定されている「釜石地方振興局保健福祉環境部」が、岩手県の広域振興局再編に伴い、平成22年4月1日より「沿岸広域振興局保健福祉環境部」となっています。

《被害女性の相談窓口一覧》

相談機関	電話番号
釜石市地域福祉課児童家庭係	22-0177
釜石警察署	22-0110
※沿岸広域振興局保健福祉環境部	25-2702
※岩手県福祉総合相談センター	019-629-9610
	019-652-4152(夜間)
	019-629-6568(土日祝日)
※岩手県男女共同参画センター	019-606-1762

※印の機関は「配偶者暴力相談支援センター」に指定されています。

← 変更



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

INFORMATION

ごあいさつ

少子化対策・男女共同参画推進室は、青葉ビルに戻りました。3月30日号では、釜石市役所本庁舎に移転する旨、お知らせしていましたが、4月12日にまた戻ってきました。

当室直通電話も設置されました。(22-5121)

もちろん、22-6002番でもこれまでどおり通じますので、ご安心ください。

本庁は便利でしたが、青葉ビルは快適です。これからも、どうぞよろしくお願ひします。

情報・アイデア 募集中!!

市少子化対策・男女共同参画推進室では、**れでいす・ねっとわーく**掲載用の情報・アイデアを随時募集しています。

【お問い合わせ】
市少子化対策・男女共同参画推進室
TEL:0193-22-5121
FAX:0193-22-6002
E-mail ↓↓↓
Syousi@city.kamaishi.iwate.jp

件名に“れでいす・ねっとわーく”とご記入ください。



6月は、男女共同参画に取り組む者にとって思い入れのある月です。今年も釜石市のプランの進捗状況を公表しました。男女共同参画事業は、本当に増加しました。以前は、男女共同参画事業に位置づけること自体がいやがられました。(笑) 少しずつ世の中が変化しています。一歩一歩進んでいくことが大切だと感じるこのごろです。(K. I)

4月に異動し、当室の所掌事務の多さに唖然とし、前任者の業務量に感心する毎日を過ごしています。

先日参加した「いわて男女共同参画フェスティバル2010」のテーマ「じょじょ(女女)に進む だんだん(男男)広がる共同参画」のとおりに、世の中の意識が少しずつ着実に変わる一助になればと存じます。(A. H)